



那覇市立教育研究所

所報第5号

平成21年7月24日

那覇市金城3-5-3

所長 池間生子

学校経営に参加する

所長 池間生子

先日、学校訪問が終了した小学校の教務主任と研究主任が研究所を訪ねてきた。計画訪問のため資料を整理し提出したが、これを機会に計画と資料の一体化を図るため、見方や考え方、記載の仕方、今後、全職員で確認しなければならぬこと等について意見交換がしたいとのことであった。三名でテーブルの上に広げた資料は、「学校経営」「教育課程」「学力向上対策」「校内研究」「生徒指導」「学年・学級経営案」「データ資料」等である。

校長先生の「校内研究を中心とした学校経営を！」という熱い思いに答えるため学校経営方針を学年・学級経営案に反映させるにはと文言の見直し、挿入などの提案をしながら話し合いを進めた。二時間近くの内容の確認が出来たところで話し合いを終了した。

これまで全職員が学校経営に参加することはどういう事なのかはつきりとしたイメージを持つことが出来なかったが、今回の学習会を通して、それぞれの担当がそれぞれの立場から、「学校経営方針」に目を通して、それを学級経営に生かしていくために、どうすればよいか具体的な提案をしていくことがもともと大切であることを改めて学ばせてもらった。

「今、報告を受けたところですよ。二人がよりいっそう頼もしく見えました。これからは電話が楽しみです。」という校長先生からの急ぎに学校が変わることはないと思うが、一人一人の意識が変わっていくことで何か動き出すのだと信じていたい。

研究員・検証授業

那覇市立松川小学校 長嶺奈々子

「論理的に考える力を育む学習指導の工夫」
～「読む活動」と「書く活動」を工夫した説明文の指導を通して～」

検証授業 2年4組 説明文「すみれとあり」



論理的に考える力を育むための手立てとして、「理解し評価しながら読む」という視点を取り入れ授業を創りました。本文にある文章や資料を評価するということは、よさを認めつつ問題点も明らかにしていこうという主体的な読みで、論理的に考える力の育成に繋がると考えています。しかしながら低学年ということもあり、発達段階や児童の実態に合わせた授業の構成や発問の吟味・検討を慎重にという課題も明らかになった授業でした。

ワークショップ型授業研究会

6/24 (水) 小祿南小 4年 算数「小数」 石原陽子先生 松岡康成先生



算数授業改善支援チームと小祿南小学校4年の先生方との学習会を持ち、研究授業に取り組みました。写真資料はありませんが、ワークショップ型で研究会を進めました。

7/14 (火) 城岳小 5年 算数「三角形の角」 喜名由美子先生 中山好乃先生



7/16 (木) 城西小 5年 国語「討論会をしよう」 有賀朋子先生



ワークショップ型の授業研究会では、先生方が意見を出し合い、「わかる授業」の方向性を明らかにしていきます。

Welcome 図書室

那覇市立教育研究所には、図書室があります。教育書では各種月刊誌、話題の本、幻の絶版本、教育機関の研究集録など那覇市が誇る蔵書数です。

この夏休み期間に是非一度お立ち寄りになり、学年の研修会など計画してみたいかがでしょうか。サポート致します。